



発行所 (株)基礎ジャーナル社 千107-0052 東京都港区赤坂9-1-7-204

春日基礎 (株) logo and contact info including website and email.

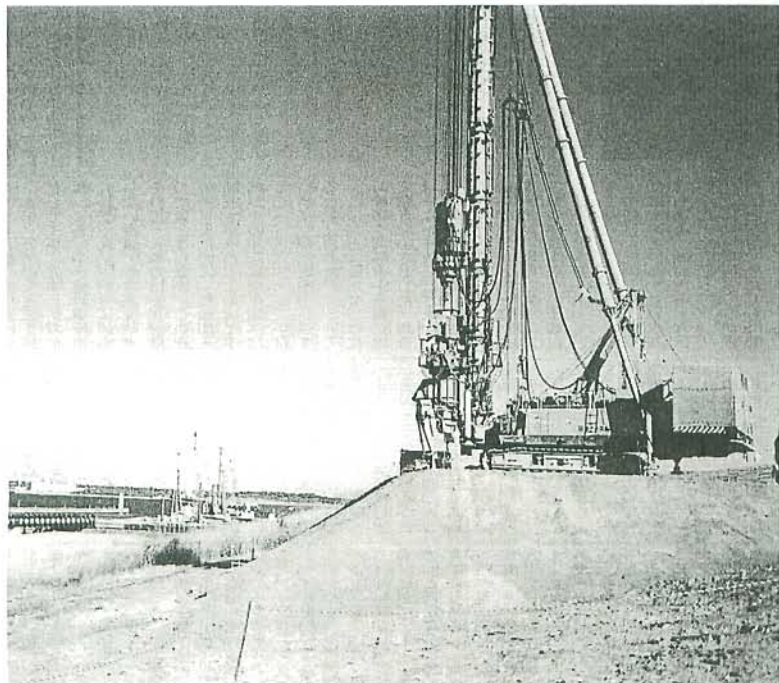
「新連携」で検査装置の開発

ノウハウを今後連携グループへ

いま元気な中小企業の間で「新連携」のとり組みが熱い視線を注ぎされている。新連携とは、新しい事業のりだそうとするきつい強みを出しあうことで総合的な能力を發揮し、技術開発や高付加価値化、新市場創出をめざす。このほど基礎工事業でもこの新連携が生まれ、先駆的なケースとして注視されている。業界としてはこれをモデルケースとして位置づけることもできよう。今後、全国基礎工業協同組合連合会(梅田隆会長)は連携を鼓吹しようとするグループに対して、バックアップする構え。

日本ベース成し遂げる

中掘工法による鋼管杭の「五メートル・二五・〇メートル」の建設長(〇・一・六五メートル)が達成された。六五メートル、四七メートル、五メートル、工事関係者などの中で、日本初というより、世界的な記録といえるのではないかと話題になっている。(第六面に記事)



東京港に面した強風の吹く現場で記録を達成した日本ベースの施工

局から認定を受ける関門はあるが、これを通れば補助金、政策金融機関の低利融資、信用保証、税制優遇などの支援メニューを受けられることができる。代表企業は熱意が事業を成功に導くといわれる。これから基礎工事業社で

「従来の連携」と 「新連携」の可能性 これまでも産学連携はさかんに行われてきた。製鋼スラグの活用による基礎工法「プレキャストコンクリート」と基礎工法の「プレキャストコンクリート」の一体化工法、掘削資材「N&R・P」などの共同開発がある。パイル工法「大土場所打杭杭」は昔から産学と連携し技術開発を行ってきた。今後、平均的な基礎工事業社による産学連携が期待されるが、これまでのところ動きは少ない。本紙

建設投資〇・一%増 建設経済研究所は二月二十四日、平成十七年度八年度の建設投資見通しを発表した。それによると、十七年度の建設投資は前年度比〇・一%増の五二兆八、一〇〇億円と九年前より前年度を上回る。昨年十月の調査では〇・六%減の五二兆四、七〇〇億円と九年連続マイナスになると予測していたが、補正予算で政府投資の下げ幅が縮小するうえ民間住宅投資も増えたと見られる。

株式会社第一工業 (グループ会社: ジオラフター(株)、第一建商) 本社 千272-0013 千葉県市川市高谷1774

飛鳥時代な物か美しいのは、それを建てる者に折りの心があったから、と聞いたことがある。現代にも魂のこもった建造物はある。だが設計偽装の発覚により建築界の世にわたった。当業界でも「解雇体」が抜かれたらどうなる。「拡張」は引抜き困難なものであった。建設現場で働く「現場」の最前線に働く者が、社社に対し誠を張って請ねる仕事にどう向き合います。じつはこれは基礎工の現状を映し出している。そのなかで「杭芯」は特に重要設備が軟弱でヤマトコが長いと大きいが、施工後に重機掘出し加断りから発掘、増し杭は莫大な費用がかかるので、形だけの補強で済まされ、無かったか

八興産業株式会社 〒136-0073 東京都江東区北砂1-3-14 TEL 03-3647-3861 (代)

建設投資〇・一%増 建設経済研究所は二月二十四日、平成十七年度八年度の建設投資見通しを発表した。それによると、十七年度の建設投資は前年度比〇・一%増の五二兆八、一〇〇億円と九年前より前年度を上回る。昨年十月の調査では〇・六%減の五二兆四、七〇〇億円と九年連続マイナスになると予測していたが、補正予算で政府投資の下げ幅が縮小するうえ民間住宅投資も増えたと見られる。

鉛直精度、誤差わずか四ミリ

長年蓄積の技術と経験を發揮

成で杭中掘達101m
管の101m

（第一面に記事）主たる使用機械は、三点式打機P D 135、油圧ハムラム重量一四トン、パイプオパガラに対応する方法が用いられる。



同じく、一〇メートルを超えるといつての難度の高い工事となることを想定していた。施工を終えた後、現場チームを率いた職長の駒澤和男氏は「ここも

中掘工の技術と経験を發揮したからと成功した事といえる。日本ベークス氏は昭和四十四年創業の老舗で、さまざまな工法を手がけてきたが、なかでも中掘工法については関東における豊富な経験と、F B 9工法などでの実績を高く評価している。F B 9工法は全国基礎工業協同組合のF B 9工法と、パイプオパガラなどとの併用。

快挙についても当然視する向きが多い。鋼管杭中掘工法によるこれまでの長尺施工記録は、明確なものも伝わっていない。水日本ベークス（株）東京都荒川区西尾久、駒澤成物社、長崎建設工業（株）が、中掘工法部門では鋼管杭中掘のF B 9工法と、パイプオパガラなどとの併用。

川崎市が認定
清水建設の
土壌洗浄事業所
清水建設が川崎市を核として土壌洗浄プラント事業所が、土壌汚染対策法による汚染土壌浄化施設としての認定を受け、川崎市から取得した。建設業界では初めての認定となる。これにより、同社は一般の汚染土壌の浄化はもとより、土壌汚染対策法による「指定区域」の汚染土壌の浄化も可能となり、これまで以上に幅広い浄化ニーズへの対応が可能となった。

建設施工技士の検定

3月23日より受験申込み

日本建設機械化協会による平成十八年度「建設機械施工技術検定試験」は、学科技験が六月十八日、実技試験が八月下旬から九月中旬にかけて実施される。申込み受付期間は三月二十三日（四月十三日）、インターネットでも申し込みの得られる。その場合は同協会のホームページを参照する。

- ①一般建設業の許可を得る際、「専任技術者」になれる
- ②建設工事での主任技術者としての資格が得られる
- ③重機系建設機械（基礎工用機械など）運転技能講習の受講資格が免除
- ④特定自主検査員の資格が得られる
- ⑤公共工事に関与する重要な工事の施工現場におかれる主任技術者になれる
- ⑥直轄の一般土木工事において主任技術者として現場配置を特記仕様書（技術力）の評価が得られる

「建設の種類と使用機械」
基礎工用機械を例にする。この試験は、「二級六種」と呼ばれる。実地試験はアーソーカを用いた杭打機（四〇・五〇・七五・一〇・八）だった。二級六種の合格率（学科）

- 平成十四年度五八・五%
- 平成十五年度六九・四%
- 平成十六年度六九・四%
- 平成十七年度六三・五%
- 平成十四年度八九・七%
- 平成十五年度九一・〇%
- 平成十六年度九一・〇%
- 平成十七年度九一・三%

水中の基礎を耐震化

五洋建設と極東工業は、河川・運河等の水中・海中にある既設橋脚基礎の耐震補強等を、ドライ環境下で実施する「Dry-in」NDR工法を共同で開発した。水中橋脚の耐震補強工事は近年各地で進められてきた。NDR工法は、同工法の開発により従来施工が困難であった水底下の杭基礎の耐震補強工事について、水中開閉補強用の作業用ロボットを用いることが可能となる。

高精度に柱列壁、リングローラー、ジャイロ用いて

ジャイロ工業は、リングローラーを用いた柱列壁の耐震補強工法を開発した。この工法は、水中開閉補強用の作業用ロボットを用いることが可能となる。

深い施工を可能とする、今後は高精度を求められる大層な工法に適用していく。

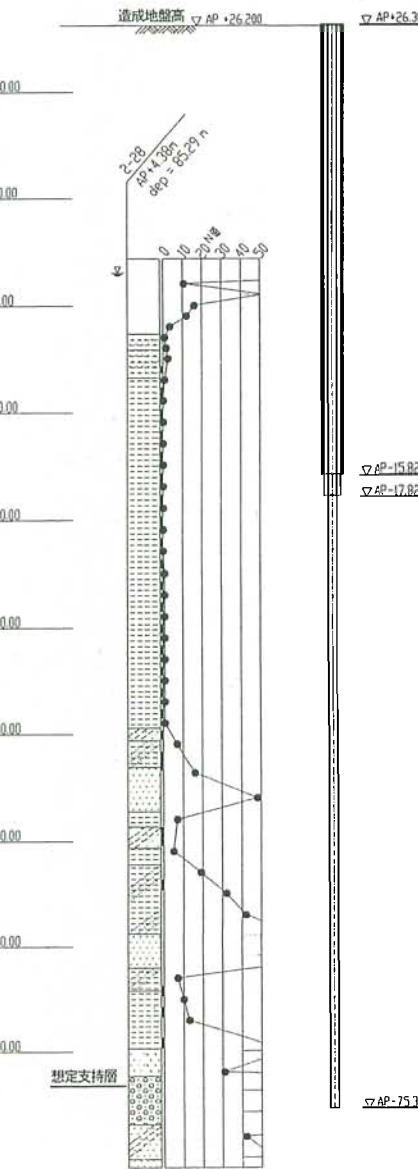
カレンチの検査と修理
カレンチの検査と修理は、長年を経て、古い検査器具が使えない状態になってきている。このカレンチを修理するのには、同じカレンチでも購入できないのが現状である。修理業者は、手直しできない機械、器具、工具はたたくあべに、同じカレンチを送り下すものもある。こうした工具を使わないで修理するのを望んでいる。



壊れたレンズ

写真を読めるから電子カメラで送ってきた。眺めても、この画像が何を意味しているのかわからなかった。仕方なく調べてみると、カメラのレンズが壊れていた。

その要求に応えるには、修理業者が、修理する必要がある。しかし、修理業者が少ない中、修理業者の数が減っている。修理業者の数は、修理業者の数が減っている。



円ローラー
225台
27, 264台
（107・7）

「建設の種類と使用機械」
基礎工用機械を例にする。この試験は、「二級六種」と呼ばれる。実地試験はアーソーカを用いた杭打機（四〇・五〇・七五・一〇・八）だった。二級六種の合格率（学科）

平成十四年度五八・五%
平成十五年度六九・四%
平成十六年度六九・四%
平成十七年度六三・五%
平成十四年度八九・七%
平成十五年度九一・〇%
平成十六年度九一・〇%
平成十七年度九一・三%

書幾回々出し奇、三車車売で曾川